



# 共済病院だより VOL.60

〒336-0931埼玉県さいたま市緑区原山3-15-31 TEL.048-882-2867  
FAX.048-882-2887 <http://www.kyosai-hosp.or.jp/>

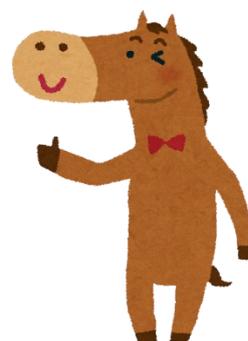


写真：2025年忘年会

謹賀新年 2026年新春

目次

- 新年のご挨拶
- 病院からのお知らせ



# 新年のご挨拶

## 医療法人博仁会共済病院

### 理事長 本松茂

あけましておめでとうございます。晴れやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、当院は療養病床をすべて地域包括ケア病床に変更しました。現在は急性期病床80床、地域包括ケア病床37床、計117床で運営しております。

あまりなじみはないと思いますが、地域包括ケア病床の役割は、急性期治療で危機を脱しましたが、まだ自宅に戻れる状態までは回復していない方や、一時的な入院を余儀なくされた方に対して、リハビリなどを重点的にを行い、多職種で連携して自宅退院や施設入所に向けた援助を行う病床です。15年ほど前までは老人病院の印象が強かった当院ですが、救急車受け入れも年間1000台を超え、急性期医療も充実してまいりました。

このたびの地域包括ケア病床の拡充で、これまで以上に近隣の基幹病院や診療所、介護施設と連携しやすくなり、地域医療の一端を担いたいと考えております。

健診センターでの健康づくり、訪問診療・訪問看護での在宅支援もさらに充実させ、病院全体で地域の方々を支える役割に邁進いたします。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



### 院長 星野徹

謹んで新年のお慶びを申し上げます。60年以上にわたり浦和原山の地で地域医療にあたってまいりました共済病院は、新病院を立ち上げてから14度目の正月を迎えました。これまで病院を軌道に乗せ、一人前に育てるまでの苦しい時期や、コロナ禍という困難な時期を何とか乗り切ってきましたが、医療の世界では病院の運営資源となる診療報酬が10年以上にわたり据え置かれたことにより、半数以上の病院が赤字に陥っているという異常な状況にあります。

共済病院もちろんその中で苦しんでおりますが、医師・看護師をはじめとする新しい仲間を積極的にお招きし、診療の幅を広げる取り組みにより、幸いにも病院運営面では何とか安定が図られています。昨年は消化器内科に石井剛弘先生、氏原先生が加わってくださり、内視鏡的治療の領域が広がりました。また、整形外科には脊椎の先進的な手術経験が豊富な神田先生が着任され、手術件数が増加しました。それに合わせるように、昨年春には手術室を1室増設し、手術件数の増加に対応できる体制も整いました。



診療体制が整ってきた今年は、馬が跳ね、大地を駆けるがごとく、さらなる発展の年になることと思います。

「安全で思いやりのある医療を提供し、地域を支えます。」という共済病院の理念を常に念頭に置き、これまで以上に地域の皆様から必要とされ、愛される病院となれるよう、そして職員一人ひとりが共済病院でやりがいをもって仕事に臨み、職務に誇りをもてるよう、更なる地域医療の向上を目指して取り組んでまいります。

皆様方にとりまして、より良い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

本年もよろしくお願ひいたします。

### 医局

現在、常勤医師14名（内科5、外科2、整形外科3、地域医療1、麻酔科1、健診センター2）、自治医大さいたま医療センターより派遣の研修医2名、非常勤医師40名（内科22、外科2、整形外科7、地域医療2、婦人科2、健診センター3、放射線科2）の体制で、日々の診療を行っています。



一つの部屋に大半の医師のデスクがまとまっており、気軽に合併症の多い高齢者の治療について相談でき、各科が協力しながら一人ひとりの患者さんの診療に当たっています。また、頻繁に研修会を実施し、急速な医学の進歩に対応して医局全員が最新の知見を共有できる環境を整えています。

### 看護部

昨年、看護部では患者さんの尊厳や想いを尊重しながら、転倒などを最小限にする取り組みに力を入れ、患者さんが安心して療養できる環境づくりに努めました。



また、少子高齢化が進むなかで看護補助者の人材確保のため、昨年までに4名の外国人（ミャンマー人）を採用し、看護師と共に患者さんの介護ケアを支えてくれています。日本語の理解が難しい場面も見られますが、温かい目で見守りながら看護チームの一員として一緒に頑張っていくと思います。

本年も、看護部理念である「地域の皆様に安心できる心のこもった看護の提供」の実現に努めるとともに、看護師がそれぞれに持っている看護能力を発揮できるような人材育成や、働きやすい職場環境の構築に力を注いでいきたいと思っています。

最後に、地域の皆様にとって健康で笑顔あふれる一年になりますようお祈り申し上げます。

## 外来看護部

外来看護部では、内科・外科・整形外科・婦人科などの診療の介助、及び検査・治療のサポートを行っています。

外来は、患者さんが最初に出会う「病院の顔」として、安心して受診できる環境づくりに努めています。当院は地域に根ざした病院であり、高齢者や一人で生活されている患者さんも多くいらっしゃいます。そのため、必要な患者さんには、担当看護師がつき、「困っていることはないか」受診日には自宅での様子を伺い、継続的に関わるよう取り組んでいます。小さな気づきを大切にしながら、患者さんが安心して治療に臨めるよう支えることが外来看護の役割です。

これからも地域の皆様に寄り添い、温かく頼られる外来を目指してまいります。

皆様の「安心」が私たちの何よりの励みです。



## 2階病棟

高齢化が急速に進む中、2階病棟は2025年9月より、37床すべてが地域包括ケア病床となりました。

主に、急性期治療を終えて、リハビリや服薬管理、在宅や施設で、その人らしく不安なく安心して生活できるよう支援する病棟です。

私たちは、患者さん一人ひとりが退院後の不安を解消し、望む場所で豊かな生活が送れるようにということを念頭に、笑顔での対応を心がけています。多職種で協力し、患者さんやご家族に寄り添いサポートさせていただくことで、患者さんの回復を間近で見ることができ、大きなやりがいにつながっています。

ご心配なことなどありましたら、遠慮なくスタッフにお声がけください。心配事の解消に向けて、一緒に取り組んでいきましょう。



## 3階病棟

3階病棟は、内科・消化器内科・外科・婦人科の40床の混合病棟で、スタッフは20代～50代まで幅広く、皆が切磋琢磨しながら明るく元気に業務にあたっています。

昨年は、患者さんが安全に療養環境を整えることに力を入れました。安全面を考慮し、患者さんが生活しやすい環境を工夫したり、ベッドサイドにいる時間を長くして生活のリズムを整えてきました。

そうして落ち着いた生活を送ることで、日に日に患者さんの表情が穏やかになり、それが病状にも良い影響を与えることを目の当たりにし、私たちも喜びを感じています。

今年は、多職種とも協力し、より一層チームで患者さんに対応していきたいと思ひます。



## 4階病棟

4階病棟は、整形外科・内科・消化器外科の混合病棟です。主に手術やリハビリテーションを受ける整形外科の患者さんが入院されています。

手術期からリハビリテーション期まで、患者さんがスムーズに段階を踏むことができるよう、医師・看護師・理学療法士・作業療法士などが連携し、それぞれの時期に応じた看護を提供しています。

日常生活の援助や安静度指示を確認しながら、患者さんのADL拡大に努め、早期退院を目指しています。

また、ご家族が安心して退院を迎えられるよう、患者さんご家族の思いを大切に、病棟の入退院支援看護師を中心に多職種で退院支援を行っています。

さらに、2階病棟（地域包括ケア病床）と連携を取り、手術後のリハビリを継続して行い、退院に向けた支援も実施しています。



## 手術室

手術室では年間約350～400件程度の消化器外科・整形外科・婦人科の手術を行っています。

2025年4月より第2手術室がオープンしました。第2手術室のオープンにより、1日に対応できる手術件数を増やすことが可能となりました。手術を必要とする患者さんをお待たせすることがないように、患者さんの安全を第一に考えながら、スムーズな日程調整に努めてまいります。

また、手術室看護師は術式に応じた必要なスキルや知識を習得しつつ、術前訪問を通じて不安を抱えながら手術に臨む患者さんの気持ちに寄り添い、個別性に応じた安全・安楽な看護を提供することを目標に手術看護を実践しています。

患者さんが安心して手術を受けられるよう、スタッフ一同、全力でサポートいたします。



## 内視鏡室

内視鏡室では、地域の皆様により安心して検査や治療を受けていただけるよう、昨年、新たに検査室の増設と常勤医の増員を実現しました。

これにより、検査の待ち時間が短縮され、治療内視鏡にも対応できる体制が整いました。

内視鏡検査は「苦手」「緊張する」と感じる方も多いと思いますが、できるだけ楽に受けさせていただけるよう、経鼻内視鏡の導入や鎮静剤の使用など、苦痛の少ない検査を心がけています。

「これなら次もここで！」と安心していただけるような安心感を大切に、定期的な検査を通して早期発見・早期治療を目指しています。今後もスタッフ一同、より質の高い医療の提供に努めてまいります。



## 放射線科

当院放射線科では、一般撮影、CT、MRI、マンモグラフィ、透視装置、骨密度装置、ポータブル装置、外科用イメージなど、さまざまな検査機器をそろえており、日々幅広い画像診断を行っています。

外来・入院を問わず多くの患者さんが検査を受けに来られるため、私たちはまず「安心していただくこと」を大切にしています。検査内容や流れをできるだけ分かりやすく説明し、不安や緊張が少しでも和らぐよう心がけています。また、痛みや負担がなるべく小さくなるよう工夫しながら、必要最小限の被ばくで、きれいで分かりやすい画像が得られるよう取り組んでいます。

機器の点検や環境づくりにも気を配り、患者さんが安心して検査を受けられる放射線科を目指しています。



## 臨床工学科

臨床工学技士は、医療機器の保守点検や操作を通じて医療を支える医療技術職です。

主な業務である定期的な医療機器の点検・整備を行うことで、突発的な機器故障を予防しております。

また、院内での医療機器に関する勉強会も定期的を開催し、医療安全の向上に努めていることも業務の一つです。

当院では、医療機器管理以外に内視鏡検査にも関わっており、皆様が不安なく検査を受けられるよう心がけております。

本年も一層、医療機器に対する知識を深め、医療安全に貢献してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



## 検査科

検査科では、大きく分けて検体検査と生理検査を行っています。

検体検査は自動化が進み、機械で測定できる項目が多くあります。検査技師は、結果が正しく出るように機械を適切に管理し、結果の一つ一つを確認した上で報告しています。

生理検査（心電図検査、超音波検査など）は、患者さんの症状などをお聞きすることで、お身体の状態を把握した上で結果を報告しています。

検査は緊張されると思いますが、検査中の会話で気持ちが和らぐこともありますので、気兼ねなくお話しください。

私たちも患者さんとのコミュニケーションを大切にしながら頑張っております。



## リハビリテーション科

新年あけましておめでとうございます。リハビリテーション科一同、昨年も多くの患者さんに支えられ、共に回復へ歩む時間を共有できたことに、心より感謝申し上げます。

本年も“その人らしさ”を大切に、より質の高いリハビリ提供を目指してまいります。

特に、早期介入の強化と在宅支援体制の充実を図り、地域で安心して暮らし続けられる環境づくりに貢献したいと考えています。スタッフ一同、技術研鑽と温かい支援を両立し、より一層頼られる科を目指します。

皆さまにとって健やかで美り多い一年となりますようお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 栄養科

栄養科では、管理栄養士2名と給食業務委託職員13名（管理栄養士1名、栄養士1名、調理師3名、調理補助8名）で、入院患者さんの栄養管理を行っています。

患者さんの治療を栄養面から支えていくことに誇りを持ち、日々患者さんのもつに足を運びながら、個々の病態や食べる能力・嗜好などをきめ細かく把握し、安全で心のもつた食事とともに「食べる楽しみ」を届けられるよう工夫を重ねています。

特に栄養的な介入が必要な場合は、多職種チームによる栄養サポートを行っています。

また、食事療法が必要な場合には、入院・外来患者さんやご家族を対象に個別栄養指導を実施しています。詳しくは主治医にご相談ください。



## 薬剤科

病院薬剤師は、患者さんに必要な薬剤を必要なタイミングで安全に提供できるよう、医薬品の適正管理に努めています。また、病棟での入院患者さんへの服薬指導や、入院時に患者さんが服用しているお薬（持参薬）の管理も重要な業務です。

内服薬だけでなく、注射薬についても、使用する量や方法に問題がないかなどの確認を行っています。TDM（治療薬物モニタリング：Therapeutic Drug Monitoring）といって、薬の血中濃度を測定し、そのデータを基に投与量を調整することで、薬の効果を最大化し、副作用を最小限に抑える業務もあります。

その他、安全キャビネットを使用し、無菌的に抗がん剤やコロナ治療薬の調製も行っています。

院内では、栄養サポートチーム、感染制御チーム、褥瘡チームなどに関わり、薬剤師が専門性をもって活動に取り組んでいます。



## 在宅支援室

今年で5年目になる部署で、現在は約80~90名の患者さんのご自宅や施設へ、訪問診療・往診で伺っています。ケアマネジャー、訪問看護師、訪問リハビリ、訪問薬剤師など、さまざまな職種のスタッフと協力しながら、患者さんが住み慣れた自宅・地域で療養できるようお手伝いをしています。



当院の病棟や外来はもちろん、地域の病院やクリニック、ケアマネジャー、訪問看護ステーションなど、あらゆる場所からご依頼をいただいています。最近では、利用者さんからの口コミによるご相談も多くなってきています。

在宅での点滴や中心静脈栄養、腸管栄養、酸素管理、様々な悪性疾患に対する疼痛管理、腹水排液処置などにも対応しています。

在宅療養でお困りの際は、お気軽にご相談いただければと思います。

## 患者支援室

患者支援室には相談員が3人と、各病棟の退院支援看護師がおり、医療・福祉・介護等に関するさまざまな相談や退院支援を行っています。



私たちは、患者の皆さまが住み慣れた地域で安心して生活できるようお手伝いすることを目指しています。そのために、ケアマネジャーさんや施設の方、市役所などの行政の方々と、日頃から情報共有に努めています。

入院された場合には、早期退院に向けた調整や、介護施設等の退院先のご紹介なども行っています。

「患者相談窓口」は、病院西側出入口（駐車場側）の自動販売機の前にあります。

ご心配・お困りのことなどございましたら、お気軽にお声がけください。

## 訪問看護ステーション アンジュ

訪問看護ステーションアンジュは、開設からおかげさまで4年目を迎えることができました。住み慣れたご自宅で安心して暮らし続けていただけるよう、安定した訪問看護の提供をモットーに、職員一同が力を合わせて取り組んでまいりました。



病状観察をはじめ、医療処置、清潔支援、服薬管理、創部ケア、看取りまで、在宅での生活を安心して過ごしていただけるよう幅広い支援を行っております。

訪問看護リハビリも、当初の週1回（水曜）の体制から拡充し、現在は月曜から金曜の午前に実施しております。

また、昨年10月には居宅介護支援事業所を同ステーション内に開設し、より総合的な在宅支援体制を整えました。

今後も多職種と連携し、まごころを込めて訪問看護サービスを提供してまいります。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

## 健診センター

去年は暑い日が続いたり、寒暖差が大きな1年でしたが皆さんは健康状態はいかがですか？当健診センターでは、一般健診、企業健診、市の特定健診、人間ドックなどを行っております。



病院併設の利点を活用して、一度の来院で婦人科健診を含めた多種目の検査を受けることが可能となっています。

地域の方々の生活を支えや健康維持と増進のために、お一人でも多く健康診断を受診していただけるよう業務にあたっています。また、技術の向上に努め精度の高い健康診断を目指しています。

スタッフ間の連携を密にした協力体制の確立を目指し、誠実で温かみのある健診サービスの提供をすることで皆様の健康を守るための「転ばぬ先の杖」となれるように心がけています。

## 総務課

病院の総務課は、民間企業における「総務・人事部門」の仕事と、かなり似た業務内容になります。当院では、施設管理や建物の療養環境整備、医療材料の発注や納品管理、人事管理が主な業務となります。その他、ロッカーの配置や給与計算、病院内の雑費管理、代表電話の交換業務など、幅広く業務を行っています。



病院は非営利法人となるため、限られた収入の中で収支管理をしなければなりません。そういった厳しい制約がある中でも、常に患者さんの安全・安心に配慮した療養環境づくりを行う必要があります。

今後も、間接的に患者さんに良い医療サービスを提供できるよう、業務に取り組んでいきます。

## 医事課

事務部医事課の主な業務は、窓口業務・会計業務・入院費の計算・保険請求業務・医師事務補助業務などです。日々、医師・看護師などと連携・協働しながら、チーム医療の一員として患者サービスに関わり、診療を支える最前線の現場として業務を行っています。



今年は二年に一度行われる診療報酬改定の年でもあり、制度変更への対応や正確な請求業務がこれまで以上に求められます。

医事課では、最新情報の習得と業務体制の見直しを進め、患者さんにわかりやすい説明とスムーズな受付・会計を心がけてまいります。また、医師事務作業補助者は、医師が診療に集中できるよう、さまざまな事務作業をサポートしています。

今後も、不安や心配を抱えて来院される患者さんに寄り添い、細かな気配りを大切にしていきたいと思っております。何かお困りのことがございましたら、遠慮なくお声がけください。

# 共済病院からの **おしらせ**

## 未来の医療を担う学生たち:IPW実習5日間の学び

2025年9月29日から10月3日までの5日間、当院にてIPW（多職種連携：Interprofessional Work）実習を実施しました。

本実習には、看護学科・健康開発学科・社会福祉学科・作業療法学科・医学科の学生が参加し、実際の臨床現場における多職種連携について学びました。学生たちは、患者さんの情報共有、課題の分析、ケア計画の検討などを通じて、互いの専門性を理解しながら協働することの重要性を体験しました。

積極的に意見を交わし、多角的な視点から患者さんを捉えようとする姿勢は大変印象的であり、今回の学びが今後の学習や臨床実践へと確実に活かされていくものと期待しています。

当院では今後も、地域医療の発展に貢献する人材育成を目指し、多職種連携教育の充実に取り組んでまいります。



## 共済病院看護部「リレー・フォー・ライフ」への取り組み

共済病院看護部では、2015年より毎年、がん征圧と患者支援を目的としたチャリティー活動「リレー・フォー・ライフ」に参加しています。

院内で皆さまからお寄せいただいた募金は、公益財団法人日本対がん協会へ寄付し、がん患者さんにご家族の支援活動に役立てられています。

私たちは、がんと向き合う方々に寄り添い、地域社会とともに支援の輪を広げていくことを大切にしています。今後も、啓発活動を通じて地域と連携し、患者さんやご家族を支える取り組みを続けてまいります。

## リレー・フォー・ライフ・ジャパン さいたま



さいたま市では、緑区の大崎公園「緑の広場」にて、毎年秋にチャリティーイベントが開催されています。会場内では、「なごみサロン」として、がんを経験された方やご家族が気軽に語り合える場も設けられています。

相談室にはイベントのパンフレットをご用意しておりますので、ぜひお手に取ってご覧ください。

## 職員旅行で深まる絆と癒しの時間



11月8日の職員旅行では、しながわ水族館で海の生きものに癒され、東京クルーズの水上バスでは、仲間とともに穏やかな景色を楽しむひとときを過ごしました。その後を訪れたヒルトン東京のビュッフェでは、日頃は別々の現場で頑張る職員同士が美味しい料理を囲みながらゆっくり語り合い、互いの想いを共有できる温かな時間となりました。

今回の職員旅行で深まったつながりを力に、これからも一人ひとりの患者さんに寄り添う医療を、職員一同で丁寧に届けてまいります。

## 笑顔と交流に包まれた忘年会

2025年12月19日、ステラ・デル・アンジェロにて当院の忘年会を開催しました。冒頭では、長年にわたり病院を支えてくださった職員への永年勤続表彰を行い、会場からは温かい拍手が送られました。

毎年恒例の共済バンドの演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

和やかな雰囲気の中で職種を超えた交流が生まれ、2025年を締めくくる良い機会となりました。



## 編集後記

新しい年、2026年を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今号では、各部署からのご挨拶とともに、日々の業務や取り組みを紹介させていただきました。普段はなかなか見ることのできない裏側や、職員一人ひとりの思いに触れていただけたのではないかと思います。

また、病院からのお知らせとして、IPW実習やリレー・フォー・ライフへの参加、さらに職員旅行や忘年会の様子など、日常業務とは少し違った内容も盛り込みました。こうした活動を通して、職員同士のつながりや学びが深まっていることをお伝えできれば嬉しいです。

2026年も、地域の皆さまに信頼され、安心してご利用いただける病院をめざし、職員一同努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

皆さまにとって、健康で実り多い一年となりますように。

共済病院 広報委員会 一同（大和、佐藤、沖、森、村岡、藤生、石渡）





# 医療法人博仁会 共済病院

☎ 048-882-2867

〒336-0931  
埼玉県さいたま市緑区原山3-15-31

受付時間 8:45~11:30/13:00~17:00  
予約変更 14:00~17:00  
休診日 土曜午後・日曜・祝日・年末年始

## 《理念と基本方針》

### ★地域を支える医療

地域において求められている病院の役割に基づき、地域の皆様、医療機関、介護施設、福祉施設、行政との連携を大切にして、皆様の健康を支えるために愛され、親しまれ、信頼される病院となることを目指します。

### ★安全で安心できる医療

健全な経営のもとに、患者様そしてご家族の皆様のご希望を尊重した上で、その病状に応じた適切な医療を提供します。

### ★患者様に寄り添った医療

患者様のプライバシー、真実を知る権利、自己決定権を尊重して、十分な検討を加えた上でよりよい医療を提供します。

### ★全職員の自己研鑽による質の高い医療

医療従事者としての自覚のもとに自ら心身の健康保持と増進に努め、また修練を重ねることでそれぞれの医療知識と技術の向上、そして創意工夫に努めます。

## 《診療科目》

- 内科：循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内科・内視鏡内科
- 外科：消化器外科・乳腺外科・肛門外科・内視鏡外科
- 整形外科
- 婦人科
- 麻酔科

## 《附属施設》

- 健診センター
- 訪問診療
- 訪問看護ステーション



## 共済病院訪問看護ステーション アンジュ(24時間対応)

訪問日：月曜日～金曜日 土日祝日・年末年始お休み

訪問時間：9時～17時まで

※24時間ご連絡がとれる体制をとっています。

TEL 048-711-1039

FAX 048-711-1503



### 【交通】

- 浦和駅東口 ①番バス停乗り場  
原山三丁目共済病院前 下車徒歩 1分
- 東浦和駅 ④番乗り場  
原山三丁目共済病院前下車徒歩 1分
- 病院無料駐車場31台

### 外来診察表

<https://www.kyosai-hosp.or.jp/sinryoubu>



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

医療法人博仁会 共済病院  
SDGs 宣言



多様な働き方実践企業

共済病院はプラチナプラス認定企業です



男性育休  
推進宣言企業  
埼玉県



埼玉県  
健康経営